

令和3年度事業報告

長野県内の治安情勢は、刑法犯認知件数を見ますと、平成14年以降減少を続け、数的治安は改善されてきております。その一方で特殊詐欺の被害は依然として後を絶たず、体感治安は良くなったとは言えない状況にありました。

そのような情勢の下、公益社団法人長野県防犯協会連合会では、令和3年度の事業活動の目標を

「地域のきずなで安全・安心なまちづくり」

と定め、推進重点を

① 安全・安心な地域の実現に向けた「絆」や「連帯感」、「規範意識」の醸成
② 子ども、女性、高齢者等社会的弱者に係る犯罪被害の防止
③ 地域防犯協会、自主ボランティア、警察・自治体等の関係機関・団体との協働とし、真に犯罪の起きにくい社会の実現を目指して、各種の防犯事業に取り組んでまいりました。その結果、県内における昨年中の刑法犯認知件数は、5,959件 対前年比-985件、-16.5%となり、平成14年以降20年連続で減少する結果となり、数値治安は確実に回復基調にあると言えます。これも防犯ボランティアの皆様方が、警察当局、市町村等関係機関・団体と連携し、献身的な防犯の諸活動に取り組んでいただいた成果が顕著に表れております。

しかしながら、昨年の特種詐欺の被害状況は、認知件数155件、被害金額約2億6900万円に上り、依然として治まる気配はなく、県民不安は払拭されていない状況下にあります。

さらには、地域の「絆」や「連帯感」、「規範意識」など、社会の安全・安心に寄与してきた様々なシステムは、少子高齢化の進展、核家族化、地域との関わりの希薄化といった各種の情勢変化に加えて、一昨年来の新型コロナウイルス感染の影響に伴う社会的不安の増大により、従来同様に維持、機能させることは困難になっており、今後の課題は多い状況です。

そのような中で、公益社団法人長野県防犯協会連合会といたしましては、令和3年度は制限された厳しい情勢の下、新型コロナウイルス感染予防対策に万全を期し、可能な限りの各種防犯活動を積極的に推進してまいりました。

昨年度に実施した、具体的な事業推進状況は以下のとおりであります。

第1 地域安全活動事業

1 防犯意識の普及高揚

(1) 広報啓発活動 ～県民の犯罪に対する防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進
「季別の地域安全運動」、「全国地域安全運動」、「年末の特別警戒」や各地域のボランティアによる街頭啓発活動時において、立て看板・ポスターの掲出やチラシ

を配付するなど、振り込め詐欺等特殊詐欺の被害防止、子ども・女性被害に係る犯罪、自転車盗などの街頭犯罪、その他身近で発生する各種犯罪の被害防止の意識付けと防犯意識の高揚を図った。

春の地域安全運動（3月～4月）	・ 立て看板の作製配付	1,402枚
夏の地域安全運動（7月～8月）	・ 立て看板の作製配付	1,451枚
全国地域安全運動（10月）	・ 啓発ポスター ・ 啓発チラシ ・ 立て看板の作製・配付	1,150枚 9,000枚 2,717枚
年末特別警戒（12月）	・ 特別警戒ポスター ・ 特別警戒チラシ ・ 立て看板の作製・配付	6,200枚 20,000枚 4,152枚

年金支給日(6, 8, 10, 12, 2月)における「特殊詐欺被害防止啓発物品」の作製・配布	・ 5月 ポケットティッシュ	15,300個
	・ 7月 ウェットティッシュ	5,000個
	・ 7月 救急絆創膏	6,000個
	・ 11月 ファンシーマスク	10,000枚

○ 主要新聞の広告掲載による広報・啓発活動の実施

- ・ 産経新聞 11/17 「県民の警察官表彰」に併せて掲載
- ・ 信濃毎日新聞 12/15 年末特別警戒に併せて掲載
- 3/13 特殊詐欺抑止啓発「オレオレ詐欺急増！！」
- ・ 日本経済新聞 3/18 新入学児童の事故防止対策として掲載

○ 防犯季刊紙「防犯信州」の発行による広報・啓発活動

年3回発行 各種広報啓発に係る記事を掲載した。

発行部数 6,000部(2,000部/1回)

(2) ホームページのリニューアルによる地域安全ニュースの提供

○ 警察からの情報提供による事件情報や注意すべき防犯対策、各地域の防犯ボランティアの活動などを連合会 Web ページカテゴリー「防犯信州」に適時掲載して、県民の防犯意識の高揚に努めた。

- (公財) 全国防犯協会連合会、警察庁、長野県警察ホームページにリンクしてタイムリーな情報提供に努めた。

(3) 防犯ポスターコンクールの実施と防犯カレンダーの作成

○ 長野県内の小学生(4年生以上)と中学生を対象とした防犯ポスターコンクールを実施し、学校、家庭、地域社会における防犯意識の高揚を図った。

応募総数：309校 6,767点

- 各警察署等の予備審査を経た153点を対象に県審査会を実施

県審査会月日 10月7日(木)

審査員 外部有識者、公安委員、警察本部長等幹部、協会役員他

審査結果 知事賞3点、特賞3点、金賞18点、銀賞30点、銅賞41点

- 知事賞3点を含めた銀賞以上54点を、県下5カ所の各展示会場(飯田市、茅野市、山形村、上田市、長野市)に約1週間ごとに展示して、広く県民の防犯思想の普及に努めた。

- 知事賞3点を掲載した、地域安全広報用カレンダー3,000枚を作製し、市町村、金融機関、コンビニ等に配布・掲出したほか、広報啓発物品ファンシーマスクに掲載し10,000枚を作製配布して防犯思想の普及啓発に努めた。

(4) 防犯啓発用ビデオの購入・貸出し

○視聴覚を活用した県民の犯罪に対する防犯意識の普及・啓蒙に必要な教材としてDVDを5本購入し、貸し出しを行い、防犯意識の高揚に努めた。

①『フクロウ人形の秘密』

～「社会を明るくする運動」再犯防止啓発ドラマ～

②『情報モラルを身につけよう小学生のスマホの安全な使い方教室』

～第2巻危険な目にあわないために～

③『ミミちゃんのとととと』

～万引きは犯罪です。子どもにしっかりと理解させましょう。

④『まっ白の闇』

～薬物依存と闘う家族の物語。その時、本人や家族は…

⑤『薬物乱用はなぜいけないのか』

～青少年の薬物乱用防止ドラマ

- 保管中のDVDを地域防犯協会に貸し出し

・保管DVD総数 85本 タイトル数53

・貸し出し回数(講習会等開催数) 53回

・貸し出し本数 41本

・視聴延べ人数 8,193人

(5) 各地域における自主防犯活動への支援

- 防犯ボランティア支援用品の配付

防犯活動支援用品(帽子、ベスト、腕章等)を配付し、活用を図った。

(6) 地域の絆や防犯機能を高めるための「あいさつ運動」、「防犯当番制度」の普及

○学童の登下校時間帯を中心に、挨拶、声かけ運動を働き掛けたほか、地域持ち回りによる「防犯当番札」の玄関掲出を働きかけた。

○長野県将来世代応援県民会議の青少年育成推進事業の一環として取り組む「信州あいさつ運動」（毎月11日「信州あいさつの日」）にも、積極的に参画・広報し、子供たちを元気づけ、地域ぐるみで、子どもたちのすこやかな成長を応援するための県民意識の高揚を図った。

(7) 長野県社会福祉協議会（県社協）への支援

県社協の事業に賛助団体として、県社協が主宰する「信州ふっころプラン推進会議」に参画し、子供の権利擁護・健全育成活動等に取り組み、支援を行った。

2 防犯団体相互の連絡調整

(1) 防犯協会傘下組織及び関係団体との連絡調整、連携

傘下組織である防犯指導員、ホワイトエンジェルズ隊、防犯女性部、金融防犯部会の連絡調整を図り、関係団体である少年警察ボランティア協会、コンビニエンスストア防犯協会等との連携、支援、協働活動を推進した。

(2) 自主防犯ボランティア、若い世代のボランティア交流会・研修会の開催

○長野県防犯セミナー、防犯ボランティア地域交流会の開催

県下各地で活動している組織傘下のボランティア、自主的に地域で子どもの見守り活動等をしている自主ボランティア、若い世代のボランティア、市町村担当者などを一同に集め、意見交換や講師を招いての基調講演などの研修会を行い、ボランティアの育成、拡充を図った

- ・開催日 令和3年10月5日（火）

- ・開催場所 安曇野市豊科公民館

- ・参加者数 約150人

- ・基調講演 演題「防犯ボランティアが育む！子どもたちの安全と安心！

～見守りの意義と効果、大きな可能性とは～

うさぎママのパトロール教室主宰 武田信彦氏

3 防犯協会傘下団体等に対する指導・支援

(1) 防犯女性部による地域安全フォーラム研修会の実施

県下の犯罪情勢を踏まえ、子ども・女性・高齢者等の犯罪被害を防止する防犯活動の中核となって活躍する各地区防犯協会の防犯女性部長等を招致して、基調講演防犯研修、意見交換等を行い、活動の更なる活性化を図った。

- ・開催日 令和3年7月7日（水）

- ・開催場所 ホテル信濃路

- ・出席者 53名

- ・基調講演「ボランティアの力」

～地域の安全のために果たすボランティアの役割～

講師 長野県公安委員 山田千代子氏

- ・活動事例発表
- ・社会を明るくする運動再犯防止啓発DVD「フクロウ人形の秘密」視聴

(2) 金融機関防犯責任者による防犯対策会議の開催

金融機関対象の強盗事件等を未然に防止し、インターネットバンキング利用の不正送金等サイバー犯罪に対処するため防犯協会金融防犯部会「防犯対策会議」を開催した。

- ・開催日 令和3年11月10日(水)
- ・開催場所 ホテル信濃路
- ・出席者 各金融機関の防犯担当責任者等43名
- ・基調講演 演題「金融分野におけるサイバーセキュリティの動向と対策」
講師 長野県警察本部サイバー犯罪対策アドバイザー
株式会社ラック 長谷川長一氏

(3) 防犯指導委員長、ホワイトエンジェルス隊隊長合同会議

県下の防犯指導委員長、ホワイトエンジェルス隊長を招致し、防犯研修、活動事例発表を行い、さらなる防犯活動の活性化を図った。

- ・開催日 令和3年11月17日(水)
- ・開催場所 ホテル信濃路
- ・出席者 28名
- ・防犯研修1 演題「これからの防犯活動の取組について」
長野県防犯協会連合会専務理事 伊藤聡志
- ・防犯研修2 演題「児童虐待の現状と課題」
～県内児童養護施設の実態とオレンジリボン活動～
講師 児童養護施設松代福祉寮 玉井秀樹氏

(4) 防犯ボランティア保険の加入

防犯指導員、防犯女性部、ホワイトエンジェルス隊員を対象に、安心して防犯活動に従事していただくため、活動中における不慮の事故に対する補償として団体総合補償防犯ボランティア保険に加入した。

- 加入者数 1,156人 (年度中の適用事例はなし)

4 重点的犯罪予防活動の推進

(1) 特殊詐欺被害防止活動

県下の特殊詐欺被害は、認知件数、被害金額とも、依然として治まる気配はなく、高齢者を狙ったキャッシュカードをだまし取る新たな手口の詐欺事件も多発傾向に

あることから、被害防止に向けた防犯活動を最重点として実施した。

○広報啓発

- ・ 広報啓発グッズの作製、配布
- ・ A T M設置場所、高齢者が集まる病院、商業施設における広報啓発
- ・ あらゆる広報媒体を活用した広報啓発活動

○研修会・交流会における発生状況、抑止対策の研鑽

・ 総会、研修会、地域交流会等において警察本部生活安全企画課から、特殊詐欺の現状と防止対策についての教養を受けた。

○電話対策の啓蒙

・ 長野県電機商業組合と連携し、各種会議において優良防犯電話の効果的利用についての啓発を行い、抑止対策を推進した。

○防犯女性部による「寸劇」の披露、高齢者宅への家庭訪問等によるきめ細やかな防犯指導の実施

○金融防犯部会、コンビニエンスストア防犯協会を通じて各種水際対策への協力依頼を行った。

- ・ 昨年中の特殊詐欺被害抑止件数

全体	397件	内訳	金融機関	71件	コンビニエンスストア	200件
			家族	75件	その他	51件

(2) 自転車・自動車盗難、車上ねらい、空き巣等身近な犯罪の防止活動

○ 自転車登録の全車実施、ツーロックの普及の徹底

- ・ 令和3年度「自転車登録カード」販売枚数

57,444枚（令和4年3月末日現在）

○ 地域の各学校と連携した自転車盗難防止活動の推進

○ 防犯女性部、ホワイトエンジェルス隊、少年警察ボランティア等による駅前駐輪場における防犯診断・啓発活動の実施

- ・ 昨年中の自転車盗認知件数 823件（平成23年以降10年連続減少）

(3) 子どもを守るための犯罪防止活動

○「イカのおすし」の下敷きの作製、配付

・ 子どもを犯罪から守るため、子どもが知っておくべき防犯知識や「子どもを守る安心の家」の利用方法を表示した「イカのおすし」の下敷きを作製配付し、児童の防犯意識の醸成と地域における子どもの安全意識の高揚を図った。

- ・ 配付対象児童 令和4年度小学校新入生児童

・ 配付枚数 18,000枚

・ 配付対象小学校数 384校

・ 子どもを守る安心の家 13,682軒（令和3年7月1日時点）

○子ども安全防犯カメラ設置事業に対する支援

子どもの安全安心を確保するため、ダイードリンコ（株）及び地元企業が小学校に防犯カメラを設置・寄贈する事業に対して支援を行った。

○通学路における見守り活動を行う団体の奨励と表彰の実施

(4) 児童虐待防止活動の啓発・支援

○各種研修会における児童虐待防止に係る指導啓発活動を実施した。

11月17日に開催した防犯指導委員長・ホワイトエンジェルス隊長合同会議において、児童養護施設職員を講師に招き、「児童虐待の現状」について受講し意識の高揚を図った。

○11月3日、児童虐待防止啓発月間に併せて県下各地で実施した「ながの子供虐待防止オレンジリボン啓発イベント」に協力、参加した。

(5) 女性を犯罪から守る犯罪防止活動

○警察との連携により、女性に対する「声かけ事案」等予兆事案が発生した際に、ライポくん安心メール等でタイムリーに情報提供を行った。

○護身術講習会、防犯女性部による防犯指導を実施した

○防犯ブザー等各種防犯機器の斡旋

○性犯罪被害者等犯罪被害者支援連絡協議会への参画と協力を行った。

(6) 外国人居住者に対する防犯指導、犯罪防止対策の推進

○「長野県外国人労働者問題対策連絡会議」に参画し、関係機関に対し協力体制を構築し、外国人居住者の防犯・安全対策を推進した。

5 青少年の健全育成と非行防止活動～非行少年を生まない社会づくりの推進～

(1) 少年警察ボランティア、育成会、PTA、自主防犯ボランティア等と協働し、少年に対する声かけ、街頭補導等の非行防止活動の実施

(2) 長野県将来世代応援県民会議への参画と支援を行った。

(3) 警察、学校等と連携による防犯教室等を開催した。

6 暴力追放運動～暴力団組織の根絶と排除

(1) 警察、暴力追放県民センターとの連携による暴排運動を推進した。

(2) 暴力追放県民大会への支援を行った。（10月22日諏訪市文化センター）

(3) 6月3日、長野県暴力追放県民センター一定時評議員会に出席（ホテル信濃路）

7 覚せい剤、違法ドラッグ等の薬物乱用防止と有害薬物排除活動

(1) 薬物乱用防止についての広報啓発活動の実施

○薬物乱用防止ポスターの掲出による規範意識の醸成と環境づくりを行った。

- (2) 防犯ポスターコンクールの実施による規範意識の醸成と環境づくりを行った。
○小中学生対象の防犯ポスターコンクールにおいて薬物乱用防止関連で多数の作品の応募があり、入選作品については各地で展示掲出した。
- (3) 薬物乱用防止ビデオの貸し出しによる啓発活動の推進
○ビデオ貸し出し回数 5回 ○視聴者数 164人

8 防犯相談活動

- (1) 地域住民からの意見・要望、相談を受理し、防犯活動に資するとともに必要により関係行政機関に要望、提言を伝えた。
- (2) 防犯教室、講習会等の機会を活用した相談活動を行った。
- (3) 風俗環境浄化活動を通じて意見・要望の把握に努め、対策を講じるとともに関係機関に情報提供を行った。

9 防犯対策の調査研究

- (1) 地域安全・安心ステーションモデル地区の検討
地域住民が、自主防犯活動に取り組む際の活動拠点となる、地域安全・安心ステーションモデル地区の活動と今後の方向性について検討を行った。
・ 地域安全・安心ステーションモデル地区 13地区
- (2) 各種刊行物等の購読及び他県の好事例の調査
○ 全防連発行の「安心な街に」等の定期刊行物の購読
○ 他県における先進事例の調査研修

第2 風俗環境浄化事業

長野県公安委員会から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(以下「風適法」という。)第39条に基づく「長野県風俗環境浄化協会」の指定を受けた事業

1 風俗営業管理者講習及び関連する各種調査業務の推進

- (1) 風適法、同施行条例の周知と適正な業者指導の実施
- (2) 風俗営業所の管理者を対象とした法定講習の実施
○講習回数 33回 ○受講者数 318人
- (3) 同法に基づく営業所の許可申請、構造設備の変更申請等に関する現地調査の迅速確実な実施
調査回数(対象営業所数) 69回(69箇所)

2 環境浄化活動の積極的推進

- (1) 各地域の自治会、防犯ボランティア、警察等との連携による客引き等の防止のた

めの繁華街における風俗環境浄化活動の積極的推進に努めた。

(2) 風俗営業の適正な営業、健全化のため、管理者ハンドブック、管理業務簿、リーフレットを作成配付した。

○管理者ハンドブック 600部 ○管理業務簿 400部 ○リーフレット 500枚

第3 自転車防犯登録事業、防犯器具普及事業

1 自転車防犯登録の全台実施

(1) 「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律第12条」に基づき、自転車防犯登録推進協議会・自転車防犯登録店と緊密な連絡を図り、100%登録に努めた。

○令和2年度登録台数 67,978台

○令和3年度登録台数 58,559台

(2) 適正な防犯登録業務の推進

ホームページ、チラシ等により、自転車防犯登録の広報啓発に努めるとともに、利便性の正確な登録・抹消手続きを確保した。

2 優良防犯器具の普及斡旋

(1) 犯罪の未然防止、被害防止のための優良防犯器具、防犯ボランティア活動に必要な器具、備品の普及斡旋を行った。

○主な斡旋物品 ・立て看板 9,722枚

(2) 優良防犯器具等の普及斡旋

優良防犯ブザー、優良防犯電話についてホームページで紹介し、長野県電機商業組合、関連商品取扱業者等と連携し、普及促進に努めるとともに斡旋、提供した。

第4 防犯功労者（団体）表彰

1 防犯功労者表彰～長年にわたり防犯活動に功労のあった個人・団体に対しての表彰

(1) (公社)長野県防犯協会連合会表彰（令和3年度各地区防犯協会では表彰伝達）

- ・ 防犯功労者 29名
- ・ 防犯功労団体 5団体
- ・ 特別功労者 2名
- ・ 特別功労団体 5団体

(2) 関東防犯協会連絡協議会表彰（令和3年10月5日表彰伝達）

- ・ 防犯功労者 6名
- ・ 防犯功労団体 2団体
- ・ 特別功労者 1名

- ・ 特別功労団体 1 団体
- (3) 全国防犯協会連合会表彰（令和3年10月5日表彰伝達）
 - ・ 金賞 1 名
 - ・ 銀賞 2 名
 - ・ 銅賞 6 名
 - ・ 防犯功労団体 1 団体
 - ・ 特別功労団体 1 団体

(4) 県民の警察官表彰への協賛、選考審査

長野放送主催の「第65回県民の警察官」に協賛し、選考審査に参画するとともに、受賞者に対して記念品を贈呈して、警察官の士気高揚と地域安全に努めた。

- ・ 開催日・場所 11月16日（火）「NBSホール」

第5 組織運営（県防連の目的を達成するために必要な会議等）

1 総会、理事会

(1) 県防犯協会連合会の理事会、総会等の開催

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
監事監査	5月11日（火）	ホテル信濃路
第1回理事会	5月25日（火）	ホテル信濃路
定時総会	6月10日（木）	ホテル信濃路
第2回理事会	3月25日（金）	ホテル信濃路

2 業務執行状況の報告

(1) 代表理事への報告

専務理事が、毎月の活動状況、業務の推進状況等の報告をメール等によって行うとともに、必要に応じて直接訪問して報告し、指示を受けた。

(2) 監事への報告

必要の都度、監事2名を訪問し、業務の推進状況を報告するとともに、懸案事項についての意見を伺った。

(3) 理事への報告

各理事には、直接訪問し、又は文書により業務の推進状況について適時報告するとともに 課題等についての意見を伺った。

3 全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡会議主催会議

(1) 全国防犯協会連合会主催の会議等（オンライン専務理事出席）

風俗環境浄化事業運営管理者全国会議	5月20日(木)	オンラインWeb会議
都道府県防犯協会専務理事会議	7月16日(金)	オンラインWeb会議

(2) 全国地域安全中央大会（新型コロナウイルス対策のため中止）

全国地域安全運動中央大会 (防犯功労者等表彰式)	9月30日(木) (中止)	東京都新宿区 明治記念館
-----------------------------	----------------------	---------------------

※関東防犯協会連絡協議会主催会議は令和3年度中止

4 県、警察本部、関係機関、団体の総会、会議等への出席

開催日	会議名（開催場所）	出席者
4月13日(火)	県補助金監査（県警本部）	事務局長・担当職員
4月27日(火)	長野県薬物乱用対策推進協議会総会（書面会議）	専務理事
6月3日(木)	長野県暴力追放センター一定時評議員会	専務理事
6月15日(火)	長野県将来世代応援県民会議総会(TOIGO)	専務理事
11月5日(木)	長野県コンビニエンスストア防犯協会年末防犯対策会議(県庁)	専務理事

以上